

キャンプ砂防2018参加者募集

山の鼓動

を感じる



崩壊地を歩き、植生を知り、川の流を感じ、自然と人々の関わりを実体験することによって、そこに住む人々の生活を知ります。また、災害体験談等を通じて土砂災害の危険性を学びます。

まちづくり

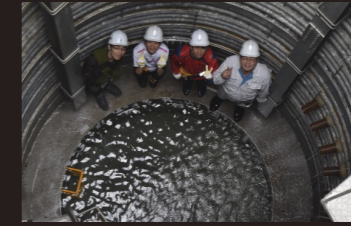
を考える



地域の方々の講話や観光業体験、地域イベント等に参加し、まちおこしについて考えます。

土砂災害

にふれる



過去に起こった災害現場視察や砂防工事の実習を行い、日頃机上では学べない現場作業などを学びます。

モノ

を作る



農業体験や林業体験、機織りや木材加工など、地場産業や地域文化の体験を通じて中山間地域の現状を学びます。

キャンプ砂防とは

我が国は、急峻な地形、脆弱な地質等により土砂災害を受けやすい自然条件下にあります。さらに、近年中山間地域では、過疎化、高齢化に伴い森林管理の衰退や耕作放棄地の増加などにより荒廃が進んでおり、土砂災害の発生等大きな社会問題となっております。一方、このような中山間地域においては、活力ある地域づくりのために各地域の個性を活かした様々な取り組みがなされています。

このような中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的として、平成8年度より「キャンプ砂防」が実施されています。

◆キャンプ砂防運営委員会 / 【事務局】国土交通省砂防部砂防計画課 地震・火山砂防室
〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3 TEL 03-5253-8468 (直通) FAX 03-5253-1610

◆キャンプ砂防推進協議会 / 【運営担当】NPO法人 土砂災害防止広報センター
〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲 4-11 TEL 03-5614-1114 (代表) FAX 03-5614-1109

<http://www.sabopc.or.jp/camp-sabo2018/>



『キャンプ砂防』参加者の声

災害の現地を見られたことで、以前個人的に調べていたことよりも重みのある事実として受け止めることにつながった。渓流域と家屋の近さ、さらに砂防堰堤と家屋の近さを実際に見ると衝撃的であった。災害の発生から3年でこんなにたくさんの砂防施設が作られていることには素直に驚き、組織としての強さを感じた。国土交通省・出張所・コンサルタント・県庁と砂防に関わる3つの立場の方から話を伺うことができたのが貴重な経験であり、今後を考えるのに大変よい機会になった。

(東京農工大学 3年・女性)

砂防の一般的知識や重要性、砂防と地域の関わり合いなどを学ぶことができた。他にも普段は見ることのできない作業途中の現場に行ってみ学べたり、作業現場の方の話を直接聞くことができた。実際の作業現場で行っている現場工事体験させてもらえたりとても貴重な体験がたくさんできた。大学で砂防について学んでいない自分には、砂防がどのような役割を果たしているのかや、透過型・不透過型の砂防堰堤のメリットや除石の有無など初めて学ぶことがたくさんありとてもたくさんの知識を吸収することができた。

(日本大学 3年・女性)

将来のためにも覚えておかないといけないと感じたのが、「砂防」をやるにも河川のことや道路のことは知っておく必要がある、という話で、やはり一つのことをスペシャリストとして専門的にやっていたとしても、考えが凝り固まってしまうあまりいいことにならないと。いろいろな部署で異なる空気感を体験し、広く知識を身につけることが一番重要なのではないかという話をしていただき、とても納得した。これから常に頭の片隅に置いておく価値のある話だと感じた。

(九州大学大学院 1年・男性)